

民衆の声  
ボイス

# VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017横浜市中区港町1-1 TEL671-3023 FAX681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com



2014

## 安心と活力ある横浜を！

### 公明党市議団はめざします

#### 防災・減災対策の拡充・強化

○市立小中学校の児童・生徒に対して、

携帯型ヘルメットの支給

○災害時の飲料水確保策として、地域防

災拠点の受水槽及び消火栓の活用

○公共施設の耐震対策

#### 子育て支援・教育の充実

○中学校昼食の充実に向けた

スクールランチの導入

○通学路の安全対策

○小児医療費助成の拡充

#### 高齢社会に安心

○地域の見守りや買い物物支援等、

孤立を防ぐモデル事業の拡充

○認知症対策の推進

○肺炎球菌ワクチンの予防接種の

公費助成

#### 健康社会の構築

○アレルギー疾患対策の推進

○がん検診の受診率向上

#### 横浜経済の活性化

○深刻な経営状況が続く市内中小

企業・小規模企業者への支援の拡充

### 路面下空洞調査を実施

公明党が提唱してきた防災・減災ニューディール政策の具体的な取り組みの一つとして、公明党市議団が提案していた路面下空洞調査が横浜市内で実施されました。

中越地震や東日本大震災のような大きな地震が発生すると、道路が陥没するという現象が見られました。

これは地中の土砂が地震により液化したり、破損した下水管等に流れ出すことで、地中に空洞が生じることが原因とされています。

公明党市議団は路面下の空洞を調査し、補修工事をするこゝで、大きな道路陥没といった事故を未然に防ぐ取り組みについて、林市長に提案するとともに、議会でもその必要性を訴え続けてきました。

今後、その調査結果をもとに、様々な防災・減災対策が推進されることとなります。



# 12月補正予算で公明党の主張が反映!

## 天井等落下防止対策

市民が避難施設として利用することもある学校の体育館、講堂、武道場などの天井の落下防止対策は、文科省の方針として平成27年度までに完了することが求められています。

横浜市は国費も用いて約15億円の補正予算を組み、対策が必要な130棟の工事や設計を前倒しするとともに、市内業者が受注できるよう条件付けして発注します。

公明党市議団は、天井等落下防止対策に加えて、下足入れや書棚などの転倒防止対策を早急に講じるよう求めました。



## 保育所待機児童解消加速化プランへの対応

本年4月、保育所待機児童ゼロを達成した横浜市が先駆的に実施してきた「横浜保育室」や「幼稚園預かり保育」などの取り組みが横浜方式として評価され、新たに国の補助金メニューとして予算化されました。

補正予算では、横浜保育室の認可保育所への移行や、幼稚園の認定こども園への移行が円滑に推進されるよう補助内容を充実させました。さらに小規模保育モデル整備事業、保育士宿舍借り上げ事業、私立幼稚園預かり保育補助事業も実施されます。

公明党市議団は、これまで横浜の保育を支えてきたあらゆる事業体が新制度に円滑に移行できるように支援することが重要であると主張するとともに、小学校入学後の放課後児童施策が切れ目なく行われるよう強く要望していました。



## 防犯灯のLED化が

## 大きく前進します

横浜市は、防犯灯を蛍光管からLEDに交換する事業を推進しています。LEDは、蛍光管に比べ消費電力が小さく、寿命も10年以上となることが期待され、電気料金も横浜市が負担することで、自治会・町内会の負担も大幅に軽減することができま。

これまで、市内の電柱に設置された防犯灯(約15万6千灯)のうち、約25%のLED化が完了しています。

今回の補正予算では、\* ESCO事業を活用し、平成26年度中に、残りの11万7千灯をLEDに交換することになります。

ESCO事業者が設備設置・運転を行い、横浜市は、10年間にわたり分割してサービス料を支出することで予算執行の平準化が図れます。



蛍光管防犯灯



LED防犯灯

\* ESCO事業とは、既存設備の省エネルギー改修により生じる維持管理費削減分で設備コストを捻出する事業。

# みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

## これからの緑の取り組み「平成26～30年度」

横浜の緑の減少に歯止めをかけ緑豊かな横浜を次世代に継承するため、平成21年度から5年間で期間として策定された「横浜みどりアップ計画」が今年度で終了します。この計画は、横浜みどり税を財源の一部として活用してきました。

26年度以降のこれからの緑の取り組み(案)では、これまで進めてきた取り組みを継続するとともに、「緑豊かな公園づくり」や「都心臨海部による賑わいづくり」など、市民が緑をより実感できる新たな取り組みも施策に位置付け、5年間の総事業費は約485億円です。

### 財源確保のため

### 「横浜みどり税条例の一部改正」を可決

緑の保全・創造による受益は、市民である個人・法人に広く及んでいるため、個人市民税と法人市民税の均等割の超過課税を妥当とするこれまでの考え方を継続し、「横浜みどり税条例の一部改正」により適用期間を延長するものです。

しかし、現下の経済情勢は景気に緩やかな回復がみられるものの、市民の所得は増えておらず、本年4月からの消費税率の引き上げなどがあることから、特に低所得者の方への配慮が必要です。

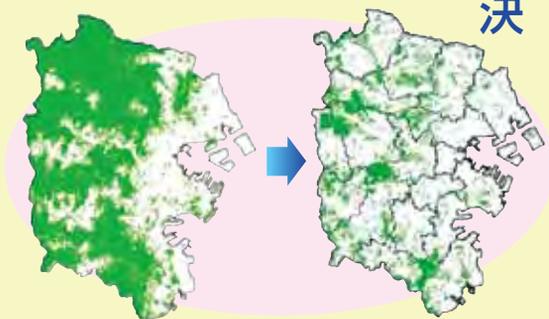
こうしたことも踏まえ、

①横浜みどり税の目的や内容について、今後も引き続き市民への周知の徹底を図るとともに、その効果を市民が実感できるよう工夫すること

②行政改革を一層推進し、特に事務事業については徹底した見直しを行うこと

③今後の税制改正や社会経済状況の変化等に伴う市民生活や市内経済動向を注視し、必要に応じその対策を検討する

との3点にわたる附帯意見を付して可決されました。



1970年(緑被率約50%) 2009年(緑被率約30%)  
\*緑被率：樹林地、農地、草地等緑に覆われた面積割合



## 消費税率アップ

社会保障の安定財源を確保するため、消費税法が改正され、本年4月から消費税率が8%に引き上げられます。

これにより、横浜市営バスや地下鉄運賃に消費税増税分が上乗せされます。

■市営バス運賃(市内均一)	
現行	210円
改定後-現金の場合	220円
ICカードの場合	216円
■市営地下鉄運賃(初乗りの場合)	
現行	200円
改定後-現金の場合	210円
ICカードの場合	206円

〔運賃改定あり〕乗車券、回数券、定期券、シニアパス、貸切バス  
 〔運賃改定なし〕敬老パス、福祉パス、1日乗車券



今回の運賃改定では、同じ区間の利用でも、現金で乗車した場合とICカードで乗車した場合で運賃に違いが生じます。

公明党市議団は、横浜市交通局に対して、市民への丁寧な説明やICカードへの切り替えを促す取り組みなどを進めるよう要望致しました。

なお運賃改定は、国土交通大臣の認可を経て、市営バスは4月1日から、市営地下鉄は6月1日から実施されます。

女優であり国連開発計画親善大使としても活躍の紺野美沙子さんをゲストに迎え、横浜市会の佐藤祐文議長と仁田昌寿副議長が、よこはま動物園ズーラシアを会場に、新春対談を行いました。



公明党横浜市議員団  
南区政務調査事務所長  
横浜市議員

**仁田まさとし**

**新春対談**

**横浜市会議長・副議長**

**夢が広がるまち横浜**

ゲスト

国連開発計画親善大使・紺野美沙子さん

〈女優〉

司会：あけましておめでとうございます。園内をまわっていかがでしたか？

紺野：童心に返りました。鷹がかっこよかったですね。

佐藤：久しぶりでしたが、もっと時間を割きたいと思いました。

仁田：動物に触れあうと、心が癒され元気をもらいますね。

〈子育て支援の先に〉

司会：昨年は何が印象に残りましたか？

紺野：アフリカ開発会議は印象に残っていますね。あと、待機児童ゼロですね。

佐藤：保育所整備以外の子育て支援も大切です。ヨコハマグッドバランス

賞や、ヨコハマデザインというサイトもあります。

仁田：子育て家庭を応援する事業として「ハマハグ」がありま

す。アンパンマンが描いてあるステッカーを貼っている

4000を超える



店舗・施設が、子育てを応援しています。また、地域で

子育てを支援する拠点が各区1カ所

あり、あわせて親子の居場所

は118カ所となりました。中学校区

の150カ所位になるといいですね。

佐藤：子育てした後、仕事に復帰する支援も必要

があります。

紺野：多様化しているニーズにあった選択ができる

といいなと思います。

〈ヨコハマ子育てトークン〉

司会：子育てエピソードや現在の取り組みは？

紺野：幼稚園に入る前は、母と子で行く居場所が

なかなか無かったですね。

佐藤：PTA会長の時「おやじの会」をつくって、

いい仲間ができました。



仁田：0から2歳では保育所に約3割、あと7割が在宅での保育です。孤立しないようにすることが大切ですね。

紺野：(親善大使として)日本で生まれたからこそ出来ることはいっぱいあることをわかって欲しいと思います。

〈夢が広がるまち横浜〉

司会：いろいろな若者たちが頑張っていますね。佐藤：昨年の大変うれしい話題は体操の白井健三選手ですね。2020年には金メダルを目指してもらいたいと思います。パラリンピックも楽しみです。

司会：芸術の面でも横浜はいい影響がたくさんありますね。

仁田：今年は横浜トリエンナーレがあります。創造都市の取り組みで、多くのアーティスト、クリエイターが横浜に集まっています。技能の面でも横浜マイスターという方々が、37職種、46人います。

司会：朗読座という活動で子どもたちと触れあっていますか。

紺野：心が潤うような時間を提供して、明日も頑張ろうと思っています。

〈今年の抱負〉

司会：今年の抱負をお聞かせ戴きたいのですが。

佐藤：昨年は東京オリンピックが決定し国内総生産もプラスに。市内経済活性化が大事です。全国市議会議長会会長として、地方自治・横浜の発展に向けて全力投球したいと思っています。

仁田：議長をしっかりと支えたい。紺野さんが関わる国連では今年から、「すべての人のための持続可能なエネルギーの国連の10年」と定めています。横浜は、環境未来

都市に選定されていますが、そのリーダーとして進んで行けるように頑張りたいと思います。

紺野：子どもたちの心を育てる取り組みを、朗読や演劇を通してサポート出来ればと思います。

司会：本日はありがとうございました。

